

鳥飼 将雅

法学研究科・准教授

【研究】

2025 年 1 月に刊行された『比較政治学事典』（丸善出版）の「地方統治」の項を執筆した。ロシア政治に関する新書の執筆を進めた。2025 年 5 月に刊行される予定である。ウクライナの議員の再出馬に関する英語論文を執筆し投稿した。現在査読中である。ロシアの政党システムに関する研究を進め、国外・国内の学会で発表した。その他、ロシアの市長の逮捕パターンに関する研究とロシアのプロパガンダに関する研究を進めた。この 3 つの研究については、来年度には完成させて英文査読誌に投稿する予定である。

【教育】

4種の講義計5コマを担当した。春学期には比較政治学と定性的研究の理論と方法の演習形式の講義で、大学院生の受講者とともに、各種文献を批判的に読解した。他研究科からの参加者もあり、様々な視点からの意見によって充実した講義となった。秋学期には、比較政治の講義と法政導入演習を担当した。比較政治の講義では、今学期からコメント制度とレポート課題を導入したことにより、より積極的に講義に向かうように誘導できたと感じる。法政導入演習で、政治学研究の読解・口頭発表・レポート執筆に関して、必要な能力を伸ばすことができたと思う。

【管理運営】

法学部教務委員に配属され、教務に関する業務を担当した。オープンキャンパスでは、ライブ・イベントでの「留学、就職、進学(大学院)について」のピックを担当し、簡単に説明を行うとともに、寄せられた質問に回答した。また時間割担当として、法学部の2025年度時間割の作成に尽力した。

国際交流室員、ハラスメント全学相談員(部局相談員)としても活動した。

【社会貢献】

昨年度から引き続き、日本国際問題研究所のロシア研究会の委員を務めた。年 4 度の研究会に出席し、今般のウクライナ戦争に伴うロシア政治の変化について地方選挙の観点から発表を行なった。